

計画小委員会 活動報告

計画小委員会

小委員長 西田 幸夫

1. 小委員会の目的

大都市においては、限られた空間の中で高密度な社会を営むために、地下空間の有効かつ計画的な活用の必要性は高い。昨年度までは、この四半世紀の間に整備された地下歩行者ネットワーク等に関して調査研究を行った。しかし、現在、既存地下空間の老朽化に対するリノベーション等、多発する地震や水害等の自然災害、火災に対する防災や減災等、地下空間に対する要求事項が多岐にわたっており、それらニーズについて十分な整理が必要な状況にある。

そのために今後のまちづくりにおける地下空間の果たす役割を把握、地下空間整備におけるネットワーク形成の他、リノベーションや防災・減災といった観点も合わせて考え、過去に議論された地下空間の有効利用や地下空間のあり方をもとに地下空間整備事例を評価する等議論をさらに深めることにより、多角的な視点から地下空間に係る計画のあり方を検討していくべく研究活動を行っているところである。

2. 研究内容

2.1 テーマ

- (1) 将来のまちづくりにおける地下空間の果たす役割
- (2) 地下空間計画時における防災・減災のあり方

2.2 基本方針

■研究テーマ案（１）

『将来のまちづくりにおける地下空間の果たす役割』

- ・地下空間有効利用の再評価（過去に議論された地下空間の有効利用や地下空間のあり方に関する要求事項等をもとに地下空間整備事例を評価する。
- ・過去の整備事例・整備計画の評価結果を踏まえ、直近の計画である 2020 年東京オリンピックやリニア新幹線等による今後の街の変化と、社会全体の問題である人口減少・高齢化に対応した地下空間の果たすべき役割を考察する。
- ・地下空間に関する老朽化問題、実施されたリノベーション策、今後の課題等について整理する。

■研究テーマ案（２）

『地下空間計画時における防災・減災のあり方』

- ・他の小委員会と連携しつつ、過去の災害事例や現状実施されている対策をもとに、今後想定される災害に対して、地下空間において計画すべき防災、減災対策について提言を行う。

2.3 研究スケジュール（3 年）

活動内容／年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
1) 情報・資料の収集整理	←→		
2) 事例の調査・研究		←→	
3) 課題の抽出，具体的分析研究		←→	→
4) 成果とりまとめ			←→

3. 活動経過（平成 26 年 8 月～）

◇平成 26 年 9 月 17 日 リーダー会議

・第 7 期の活動方針について

◇平成 26 年 10 月 15 日 平成 26 年度第 1 回小委員会

・第 7 期の活動方針について

◇平成 26 年 12 月 12 日 平成 26 年度第 2 回小委員会

・第 7 期の活動方針について

4. 委員名簿

役職	委員氏名	所 属
委員長	西田 幸夫	埼玉大学
副委員長	松谷 春敏	東京地下鉄株式会社
委員	磯谷 敏都	東京都
委員	大熊 久夫	埼玉大学
委員	大沢 昌玄	日本大学
委員	片桐 広紀	株式会社ドーコン
委員	岸井 隆幸	日本大学
委員	工藤 康博	三菱地所株式会社
委員	古賀 大陸	株式会社エイト日本技術開発
委員	齋藤 優貴	パシフィックコンサルタンツ株式会社
委員	清木 隆文	宇都宮大学
委員	松下 潤	中央大学研究開発機構
委員	水口 雅晴	三菱地所株式会社
委員	村田 哲哉	株式会社ドーコン
委員	築瀬 範彦	足利工業大学
委員	横塚 雅実	鹿島建設株式会社
幹事	伊藤 均	八千代エンジニアリング株式会社